

# 地球規模生物多様性情報機構 (GBIF):

## 生物多様性情報の収集と活用



http://www.gbif.org/

細矢 剛<sup>\*1</sup>・水沼 登志恵<sup>\*1</sup>・海老原 淳<sup>\*1</sup>・神保 宇嗣<sup>\*1</sup>・中江 雅典<sup>\*1</sup>

川本 祥子<sup>\*2</sup>・倉島 治<sup>\*3</sup>・伊藤 元己<sup>\*3</sup>

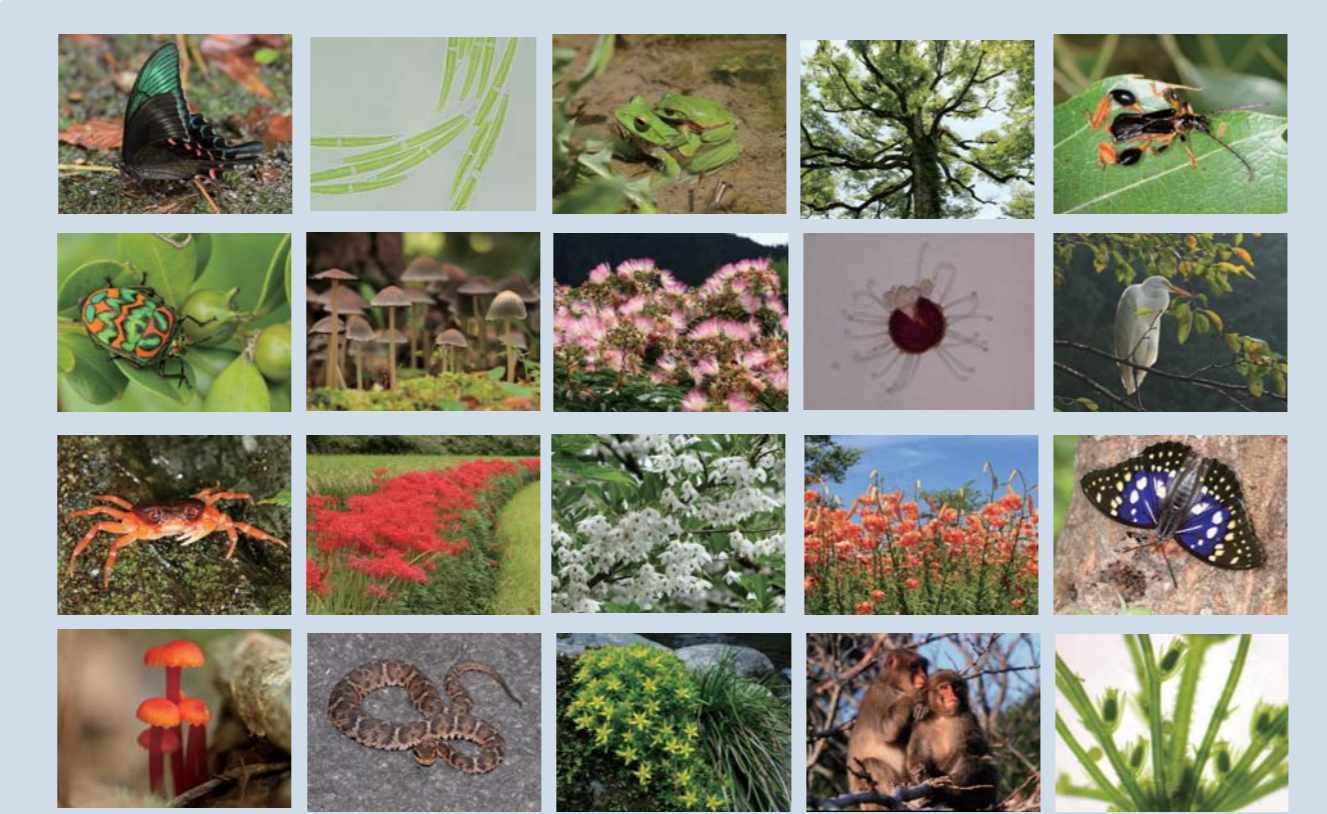
<sup>\*1</sup>: 国立科学博物館, <sup>\*2</sup>: 国立遺伝学研究所, <sup>\*3</sup>: 東京大学大学院総合文化研究科

### 1. 生物多様性情報とは?

おもに種の多様性に関する情報

- ・分類群名情報
- ・種の在情報(分布情報)
- ・種情報(形態・分布域・種間相互作用・・・)

生物における基盤情報



### 2. GBIFとは?

Global Biodiversity Information Facility  
地球規模生物多様性情報機構

<https://www.gbif.org/>

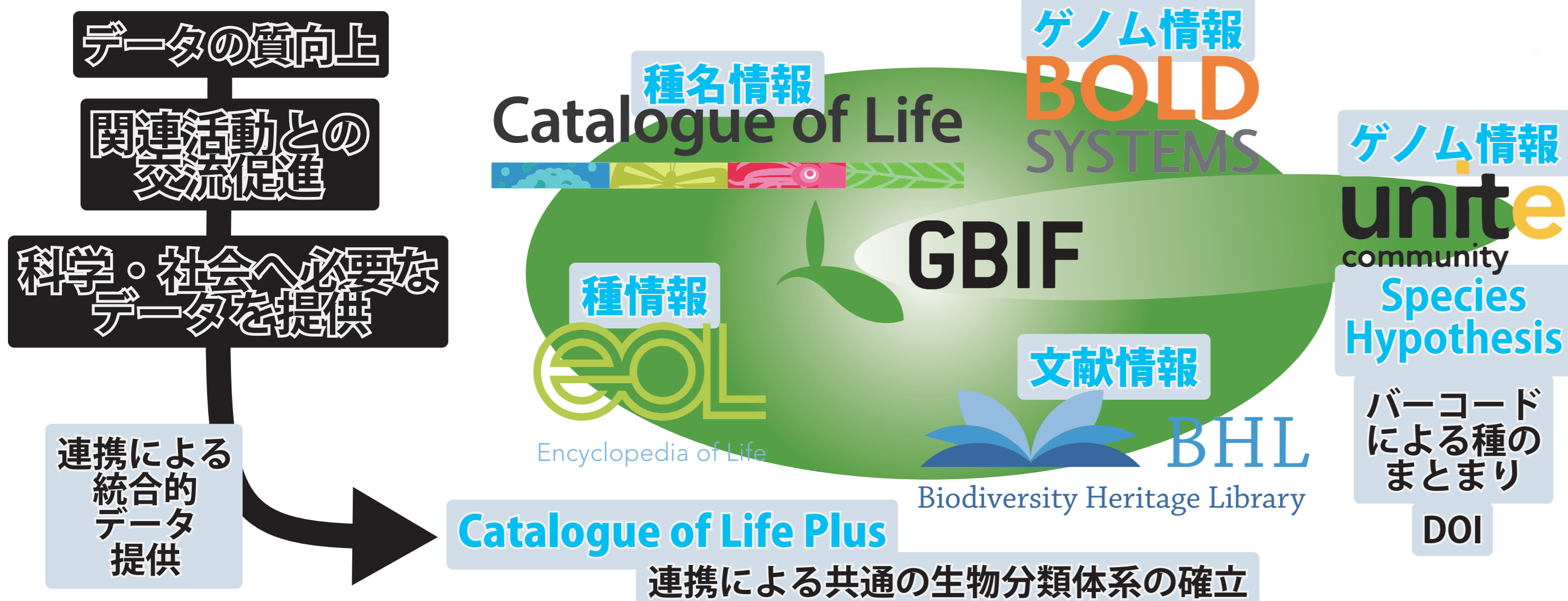
- ・誰もが生物多様性情報を利用可能になるインフラ構築を目的とする国際プロジェクト
- ・Darwin Core (生物多様性情報の標準項目) で統一したデータを用意し、横断利用に配慮

1,035,044,516件の生物在データの検索とダウンロードが可能(緯度経度付き在データは、946,806,936件)  
<https://www.gbif.org/occurrence/map>

### GBIFを使うと・・・

- ▶ 在情報報 : いつ・どこで・どの種が確認されたかの情報が得られる。
- ▶ 種名・種情報 : 分類群名や種の分布域の情報が得られる。
- ▶ オープン : 10億以上のデータ、その多くをオープンデータとして得られる。

### GBIFの目指すところ (2017-2022の戦略)



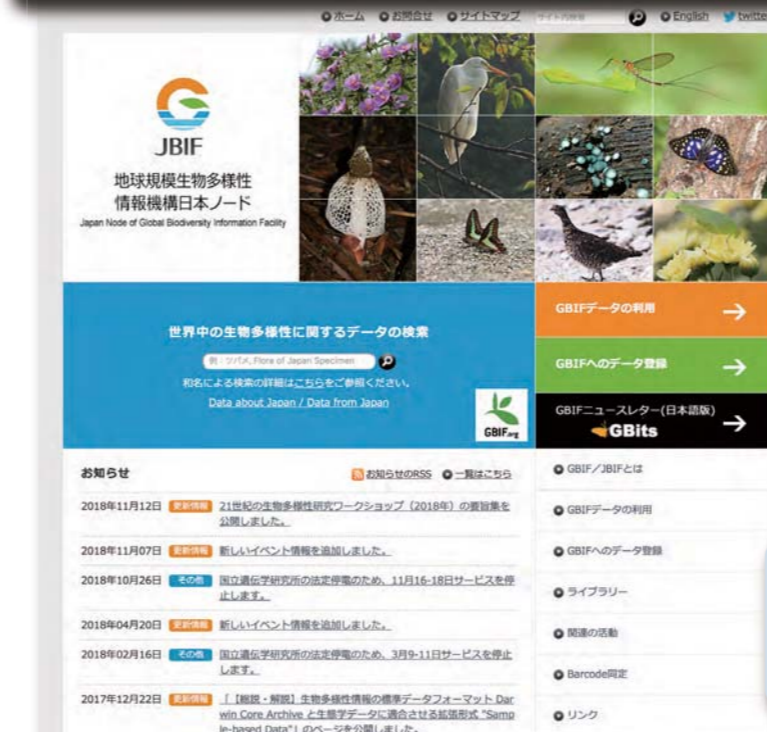
### データギャップ解消

### 生物多様性情報インフラの充実



### 3. GBIF日本ノード (JBIF: Japan Node of GBIF)

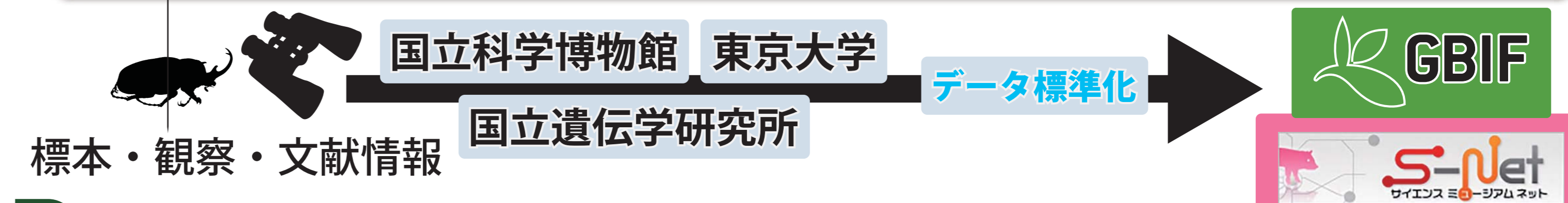
ポータルサイトによる情報提供・生物多様性情報インフラの整備



- ・和名によるGBIFデータ検索
- ・自然史情報関係の研究会・イベント情報の掲載
- ・ガイド・マニュアル(英語版/翻訳版)の掲載
- ・データ形式・データ登録方法などの情報掲載

<http://www.gbif.jp/v2/>

### データの集積と発信



### 4. サイエンスミュージアムネット (S-Net)

全国>95機関から  
データ集約



(2018年9月現在)



国内生物多様性情報を日本語で発信

- ・495万件の自然史標本資料情報の検索
- ・生物多様性情報ツール、辞書の提供
- ・研究員・学芸員情報の検索
- ・無償・登録不要

<http://science-net.kahaku.go.jp/>

### NBRP 機関の皆様へのお願い

リソース採集地データをご提供いただける場合は是非お声がけ、もしくは [s-net@kahaku.go.jp](mailto:s-net@kahaku.go.jp) にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

